



おそろい...また逢える

國神鍊介 × 千切豹馬

R-18

ADULT ONLY



どれだけ
長い年月がかかってても



おめでとう
才能の原石共よ

えーあー

あー
あー

俺たちは…



きっと……また逢える

現在から遡ること約200年前…

男娼を置く「陰間茶屋」という

売春宿が存在していた

「陰間」と呼ばれた男娼たちは
10代の少年たちがほとんどで
女装をして着飾り
男性客の相手をしていた

最盛期には
派手な振袖に身を包んだ陰間が
笠で顔を隠し
客の元へ通う姿もよく見られたとか…

ここからは
そんな時代のおはなし…



いらっしやいませ…
本日は水揚げも済んでいない
上玉がおりますよ？

俺はいい

この男が客だ

こいつは
陰間茶屋（いんまぢや）を使うのが
初めてでな

その上玉ってのを
つけてやってくれ



黙れ



さぞかし女たちが
泣くことでしょうねえ



ほお随分と
色男（いろおとこ）ですねえ

しかし男色が
お好みですか？



おい…
仕事の話があるんじゃないか？

そお
吠えるな

仕事前に
陰間茶屋で
労ってやる

おまえは誰よりも
汚れてくれているん
だからな

.....
それに見合う報酬は
もらっている

一度男を抱いてみる

たまには
文化人
気どりも
いいだろ？

劳い？
絵心がそんな
粹なこと
するわけがねえ

この茶屋に
何かある……って
ことか

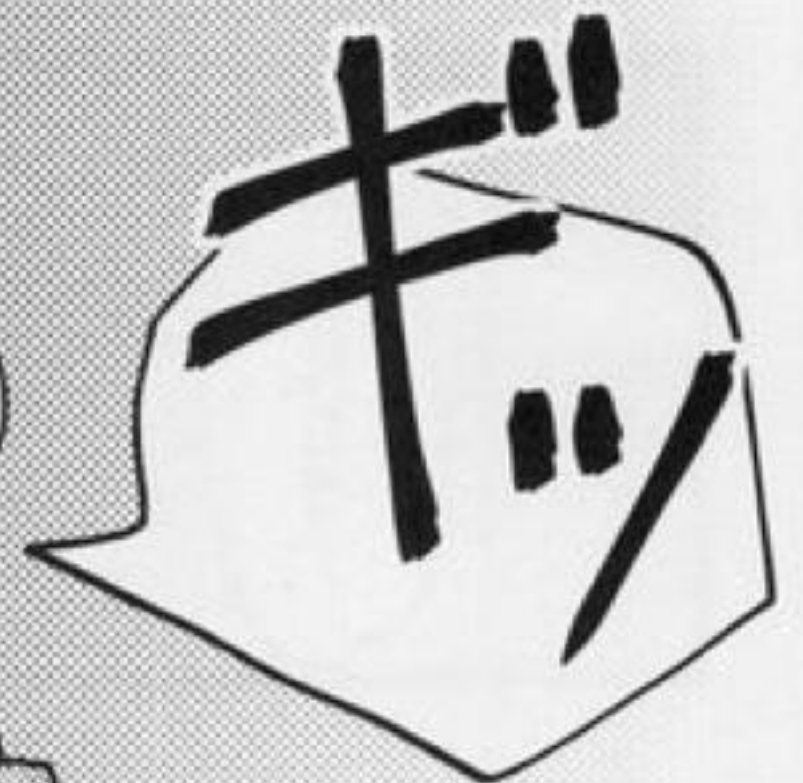
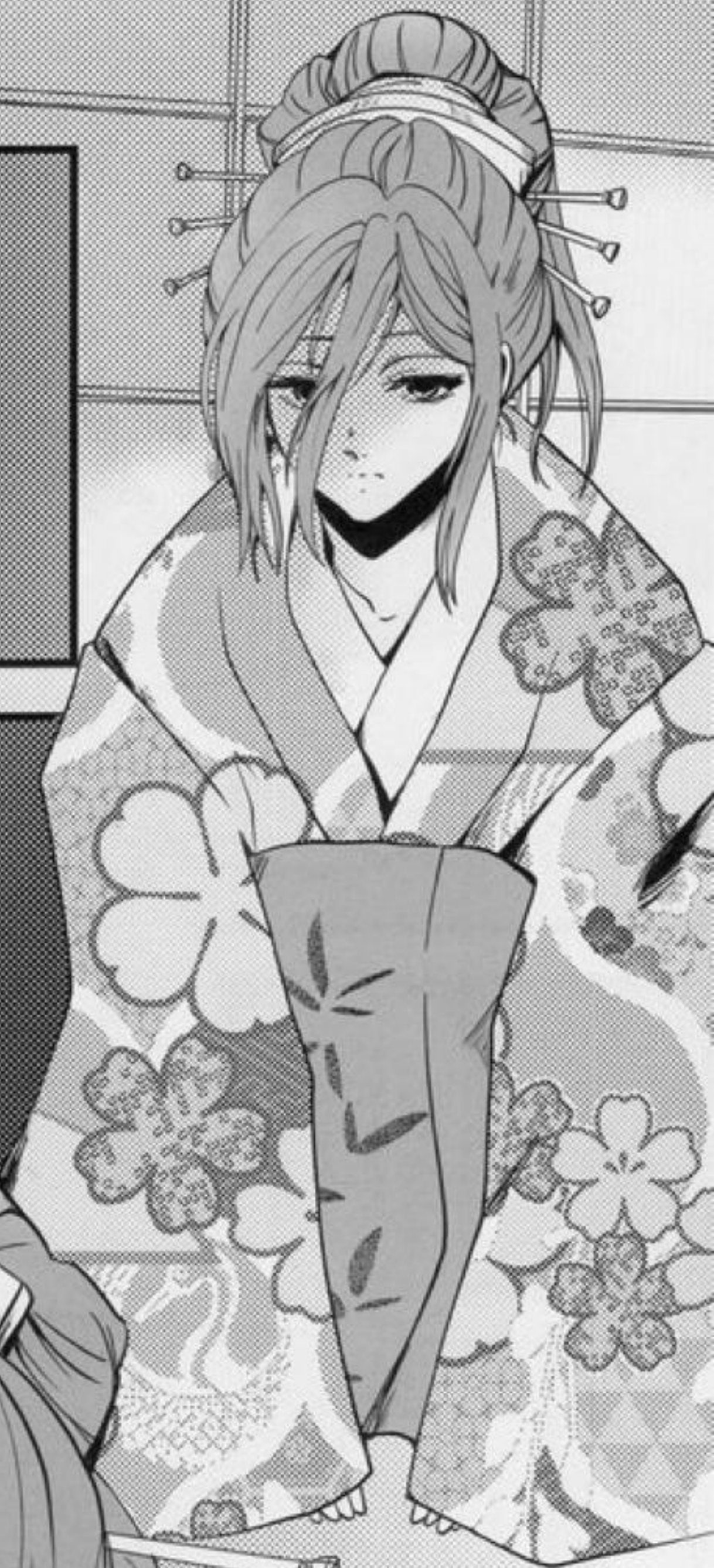
失礼します



これが陰間…




まるで女だな






この陰間…


訳アリか



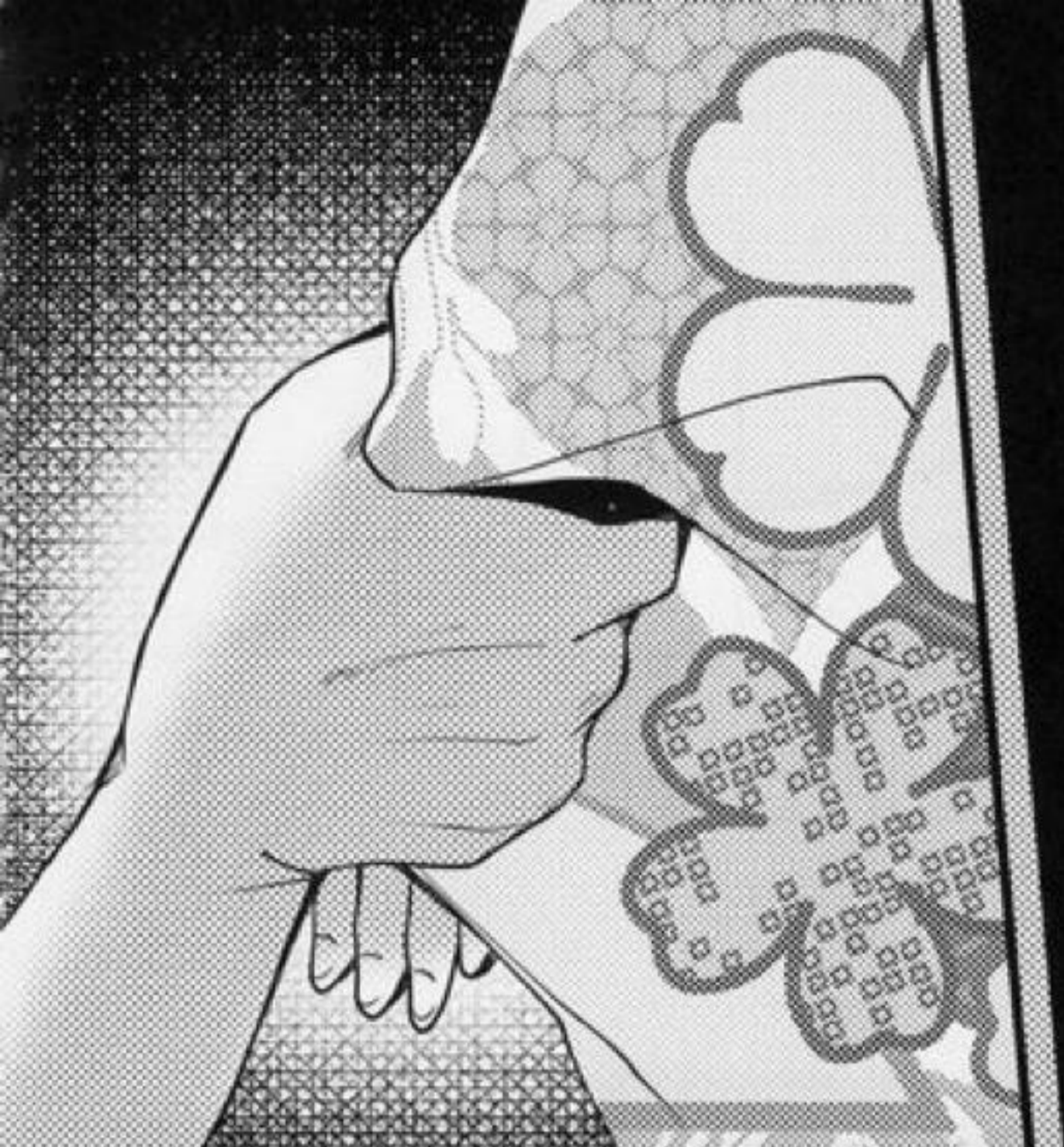
抱くなら
さっさと抱け



俺からはアンタが
喜ぶようなこと
一切する気ねえから



それが
ご不満なら
他の奴に
変わってやるよ



気が変わった



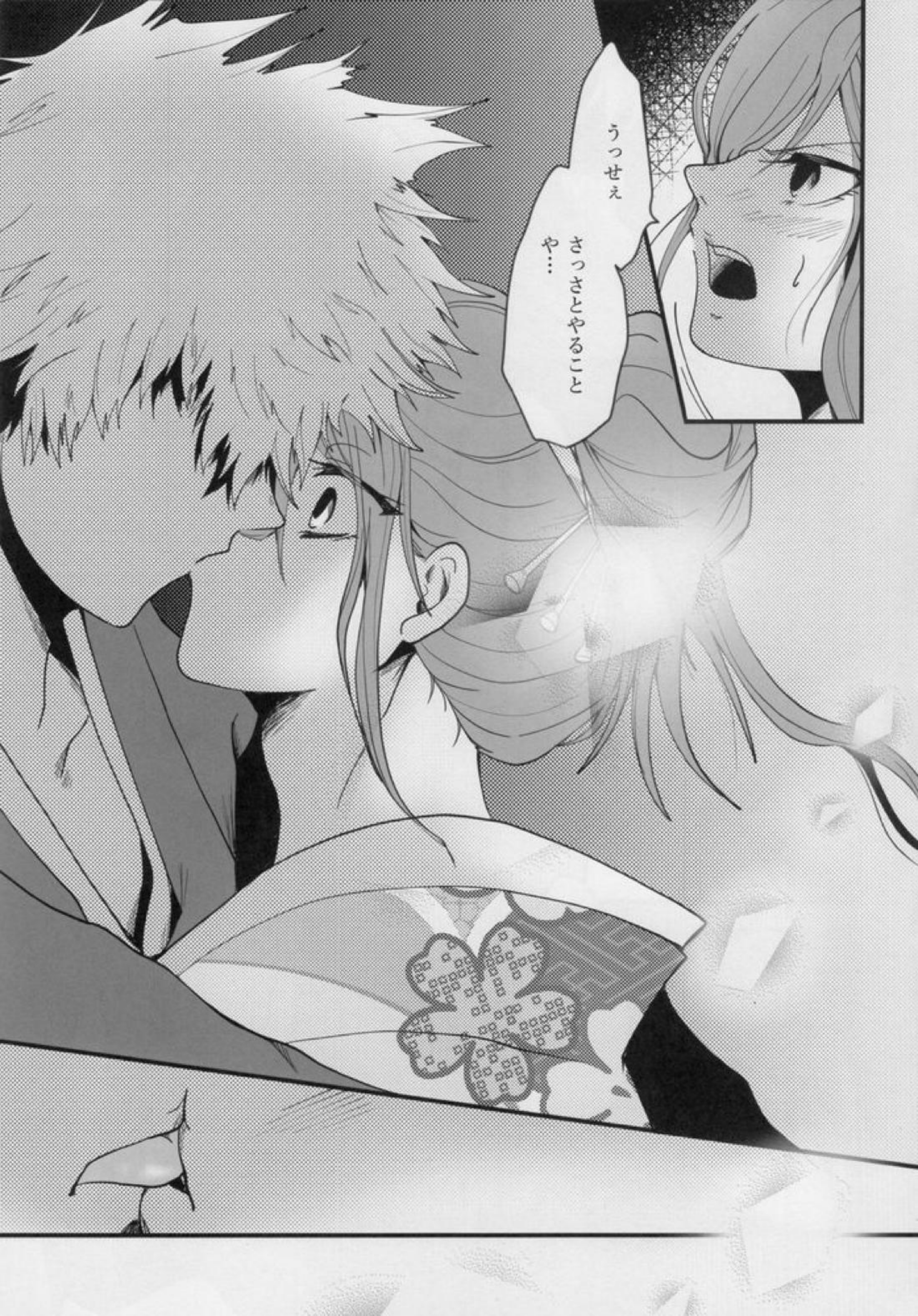
面白い



こいつなら
抱きたい…

どうした？

身体が
強張ってんぞ？



うっせえ

ちっちやるんとや...
や...



や...

んっ

無理やり手籠めにする
趣味はない

他の男がいいなら言え



どうする？





おまえでいい...

そうか





ん…

はあ…

んっ…

失礼します

お連れの
旦那様からの
ご伝言です

気に入ったなら
朝までいろ

んあっ…

やっ…


代金は俺がもつ

…とのことでした


あっ

んっ


やめっ…



.....
朝までいる



承知
いたしました



あ...
朝まで...?



も.....
む.....りい.....



んあっ



.....

.....







おい

朝までコイツの
相手しなきゃ
いけなかったのに…



もしかして俺…
最中に意識失ったのか？



寝てる…

どきん

随分あどけない寝顔なんだな

意外とそんなに年齢かわんねえのかも…



身体は
大丈夫なのか？



あれ？
髪が整ってる…

長襦袢も…



コイツが全部
したのか!?

昨晚は無茶させた

おまえの身体は
俺が付けた
うっ血痕だらけだ

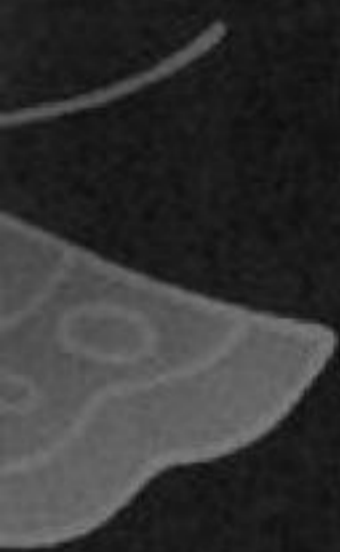
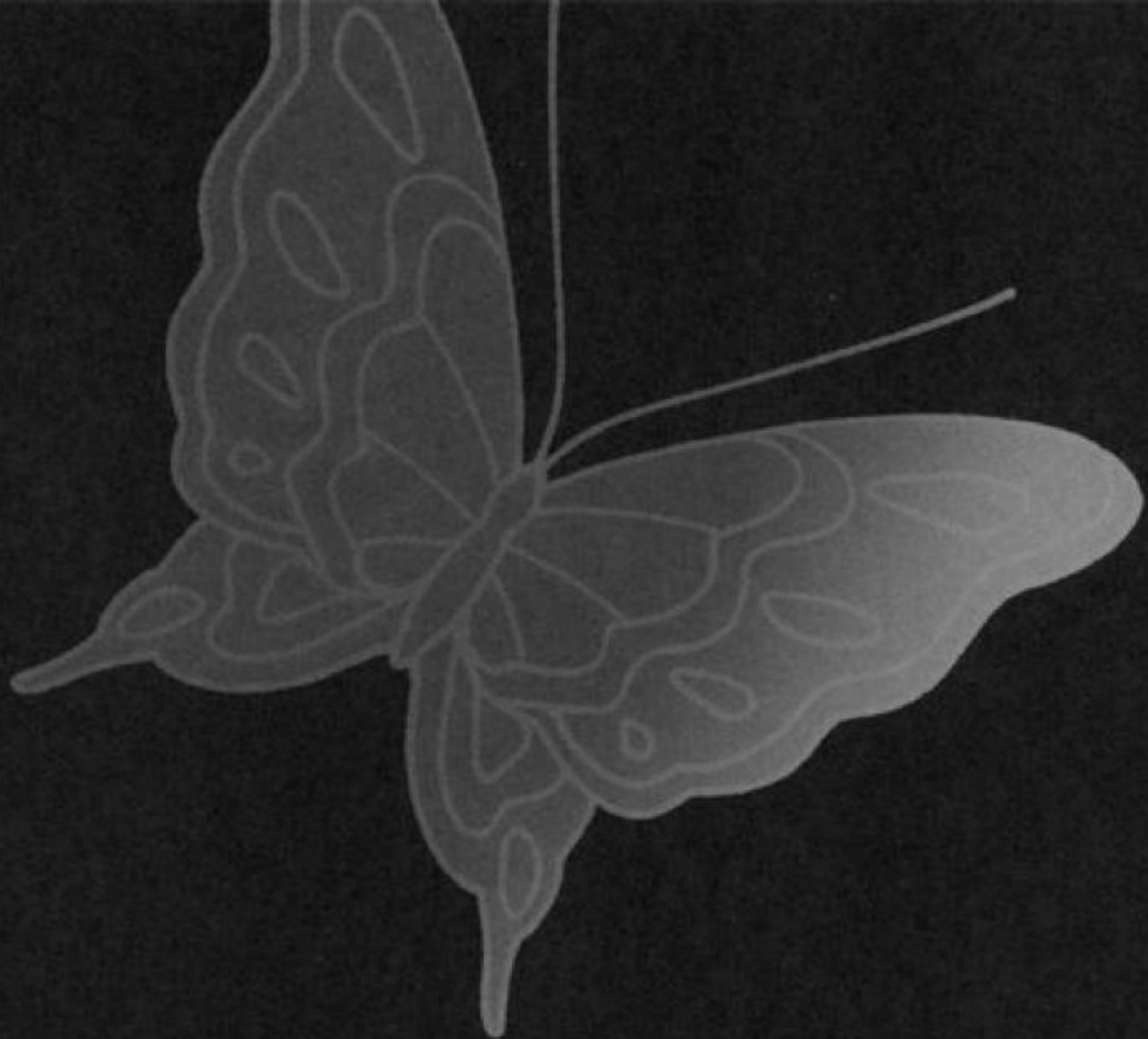
!?

痕が消えるまでは
他の客を
とれないだろ?

迷惑料として
毎日通う

その間は
俺の相手だけ
してりゃいい







失礼します

本当に
来たんだな

……
迷惑料だと
言っただろう

今日は
抱く気
ねえけどな



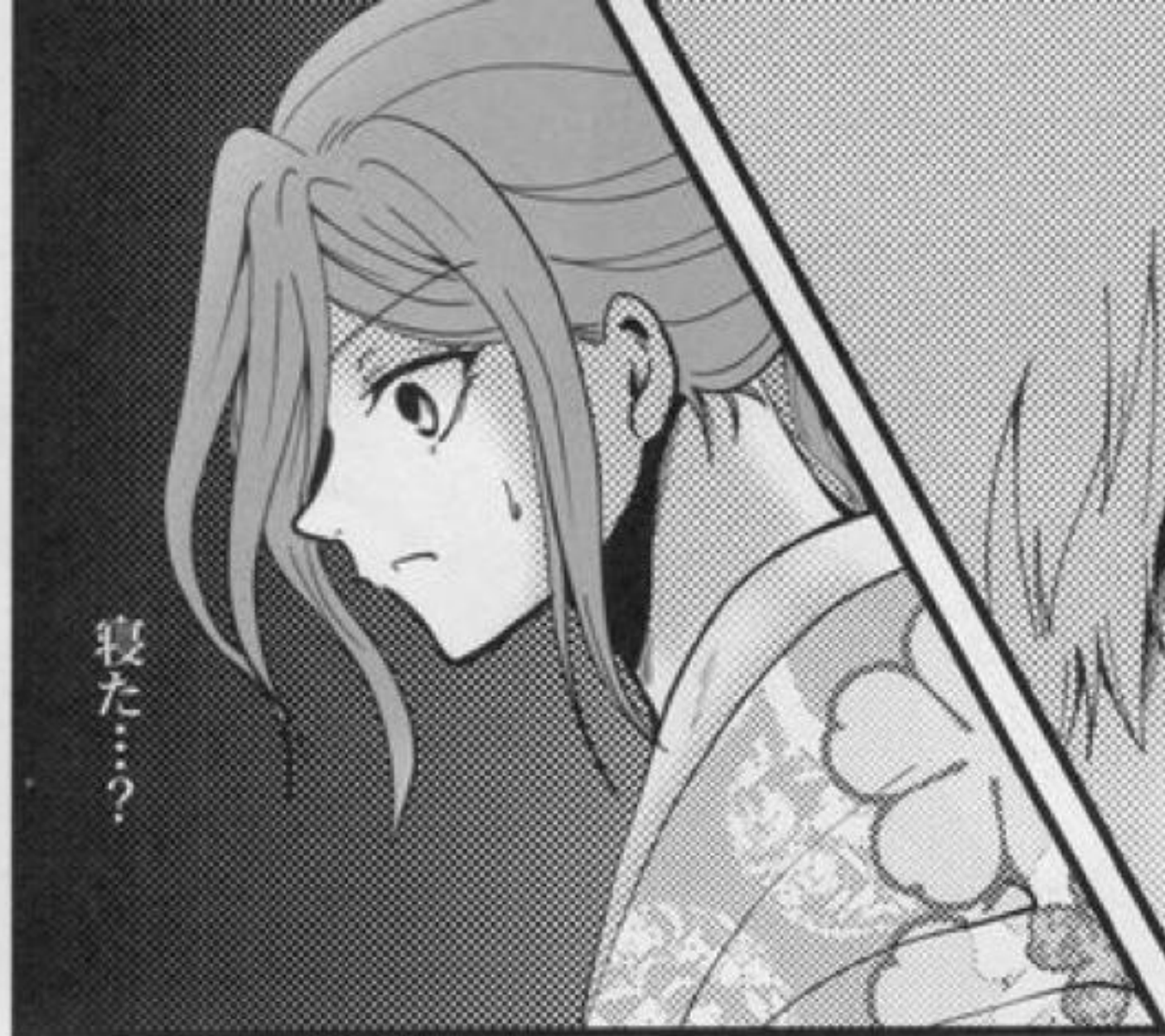
え……

このまま
寝かせてもらう

おまえも
布団に入って休め



本気かよ!?

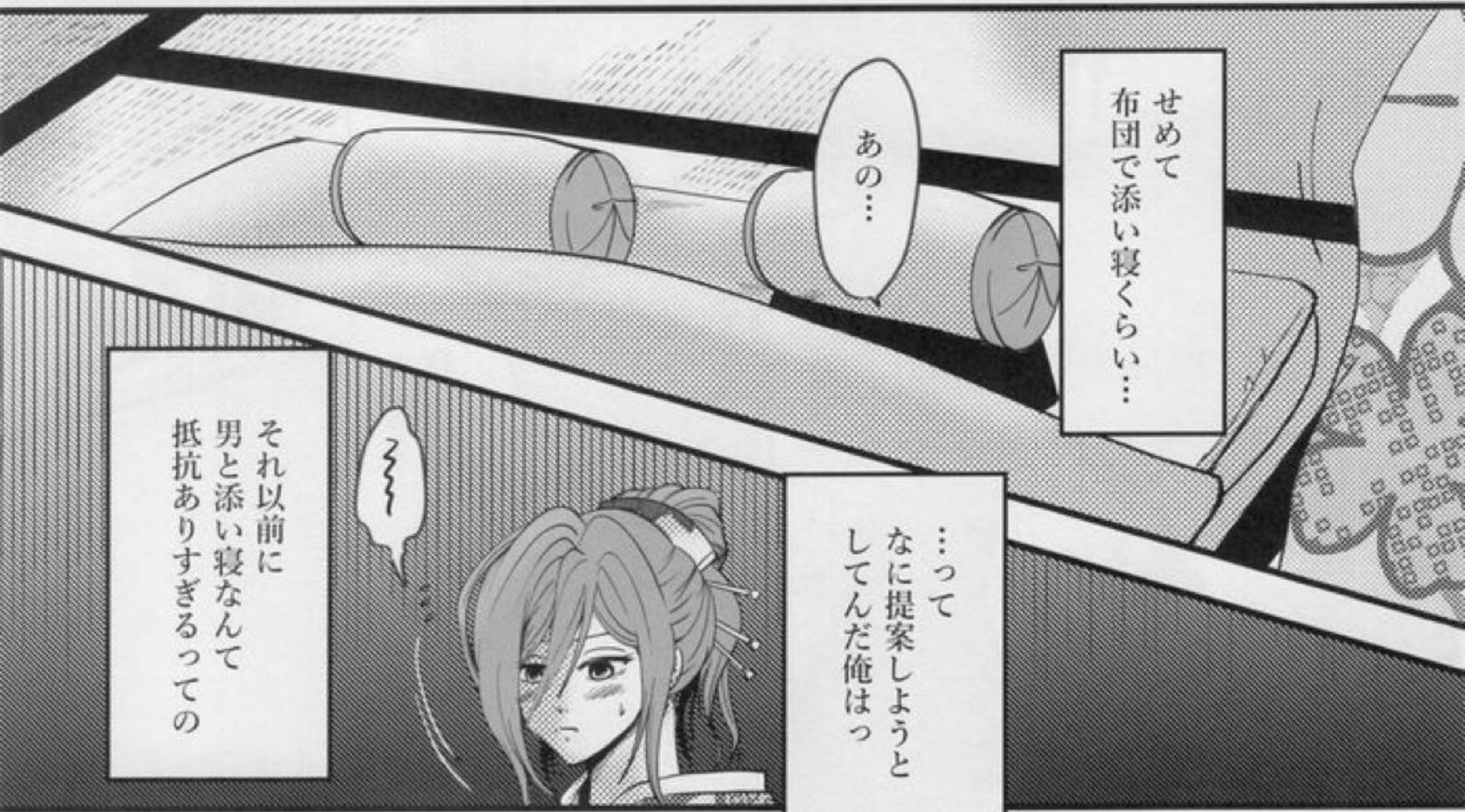


寝た……?



大金払って
何もしねえとか……

寝るだけなら
ここじゃなくたって
いいだろ!?



せめて
布団で添い寝くらい……

あの……

……って
なに提案しようとしてんだ俺はっ

~~~~~

それ以前に  
男と添い寝なんて  
抵抗ありすぎるっての





……まあ……  
いっか

正直なところ  
昨晚ので全身痛いし  
休めるのはありがたい



陰間茶屋から  
逃げだすその時まで  
うまくやんねえと……



また律儀に  
来やがった



失礼します

どうすんだ？  
今日も寝るだけか？







な……んだ？



今日は……



やる気なのかよ



んんっ

……っ





前のは違う...

ん.....  
やばい.....

すっげえ優しくくて



あっ

気持ちいい...







今夜は  
抱いてくれんのかな？



はっ

いやいやいや

べ…別に  
あいつ  
國神に抱かれてえ  
わけじゃねえしっ



きつと  
毎晩一緒に  
過ごしてるから

情がわいてきたんだな



だからか…  
こんな気持ちになんの

俺の身体を氣遣ってのこと  
なんだろうけど  
昨晚みたいに  
求めてこない日があると  
たまらなく不安になる



ほんと…

馬鹿みてえ…

以前の俺なら  
陰間茶屋から  
逃げ出すことばかり  
考えていたのに…

いつの間にか  
待ち人の来訪を  
大人しく待ち続ける  
ようになったちまった

全部  
コイツのせいだ

ん……

どうした？





國神ってさあ

ん〜…



なんの仕事してんの？


ここに  
毎日通えるくれえ  
金もってんだろ？

……？


……

……







この街から汚いものを  
除いている



住み良く綺麗に  
なる分…



俺は存分に  
汚れることに  
なるが



それが  
信じる道だ





あー

川とか溝の  
清掃か？

それは確かに  
汚れるよな!!

フッ…



コイツなら…

信用できるかも  
しれない



おまえは  
箱入りのお嬢さんかよ…



助けてくれるかも  
しれない…

お嬢さん  
じゃねえよ

俺は

家業を継ぐために  
江戸の大店に  
二年間奉公に上がる  
予定だった

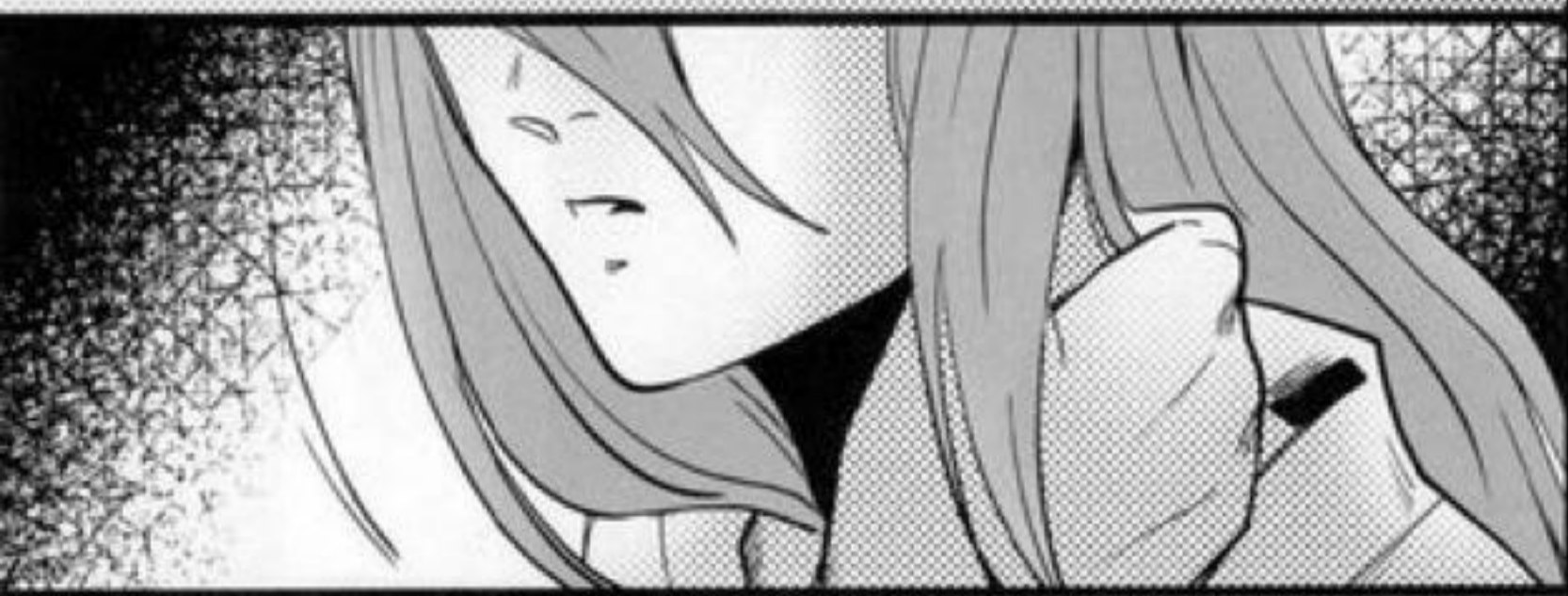
船を降りてすぐに  
同船していた  
男たちが襲ってきて

通行手形と  
奉公人請状を奪われた

薩摩藩御用達の  
小間物問屋  
千桐屋ちぎりやの嫡男

千切豹馬だ





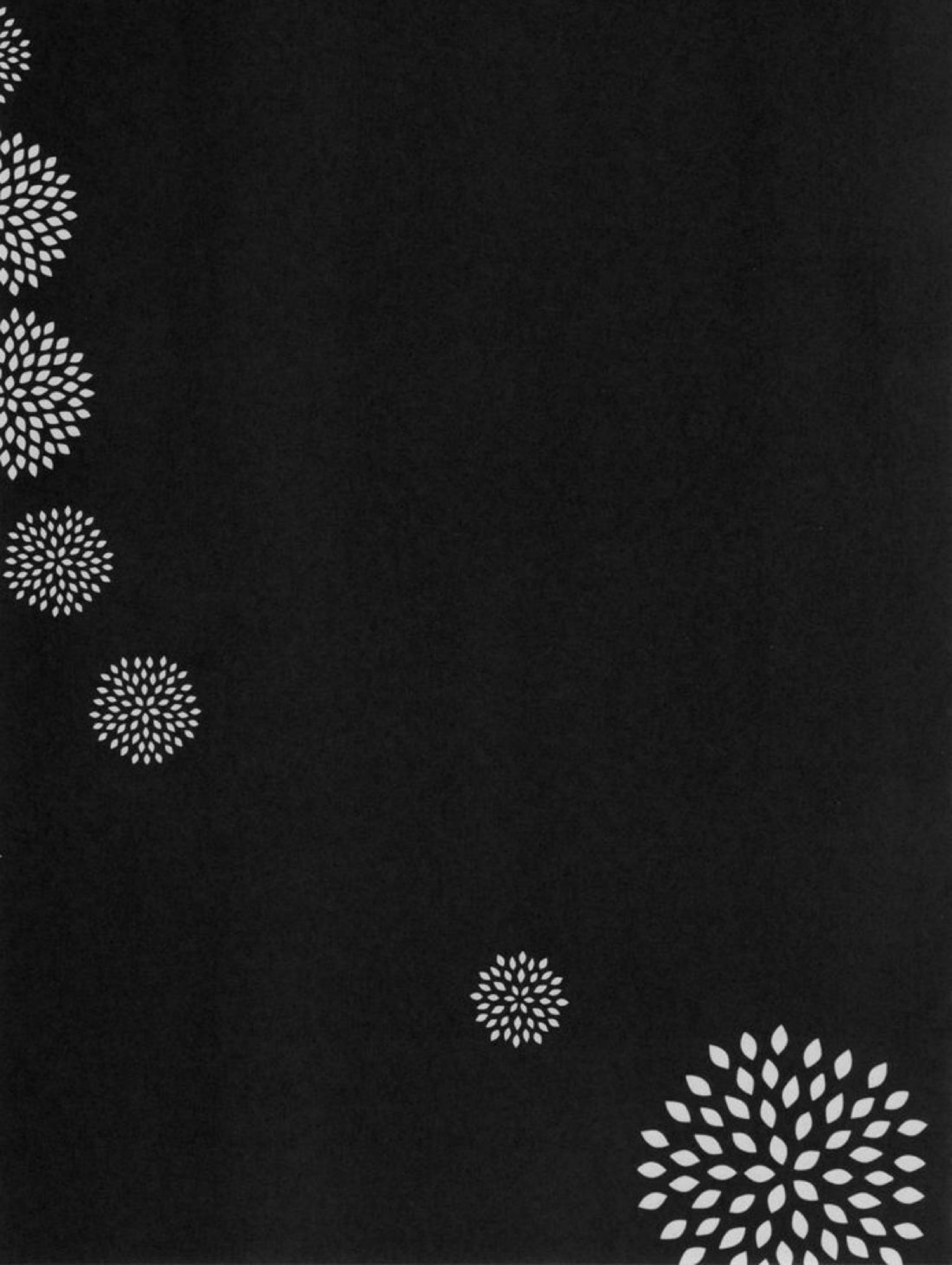
大人しくしていないと  
それらの手形を悪用する  
と脅されて



陰間茶屋に  
売り飛ばされたんだ











もしかして  
國神たまえって俺の髪  
好きなの？

やたら触って  
くるし



.....

.....まあ.....な



.....  
そんなやり取りが  
懐かしく感じる



俺の素性を明かしたあの日から.....國神は毎日訪れなくなった

その前なんて  
5日間は  
空いてたよな



前に来たのが  
3日前か...



國神が来なくても  
何故か店主は  
他の客を  
とらせようとしねえし…  
それは助かってんの…

なんだ？  
この情けねえ顔…

何に  
落ち込んでんだ？  
俺は…

すべてを話したのに同情すらされなかったから？

ここから助け出してくれなかったから？

毎日通うっていう約束を反故にされたから？

ここに来てもまったく俺を抱かなくなったから？

それが  
なんだってんだ



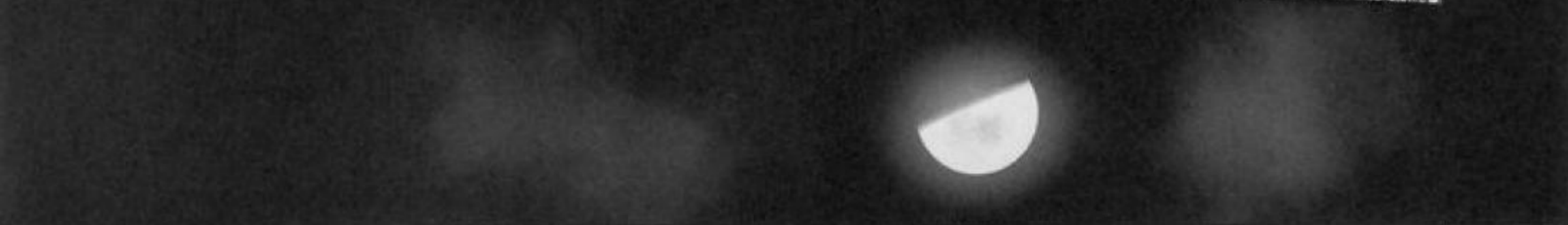


……っ

こんな……  
物騒なヤツ……

相手したくねえに  
決まってるんだろ

國神なら  
俺のすべてを  
受け入れてくれると  
勝手に期待していたからだ







なあ...


今日はどうすんだ？




.....

酒を飲んで  
寝る






そうかよ…




ずっとおまえが  
つけ続けていた痕なんて  
とっくに消えてるし



ほかに何の  
義理立てがあんのか  
知んねえけど



その気ねえんなら…



ここに  
来んじゃねえよ



はっ







どうせ…もう来ないなら……

どうせ…俺に興味がないなら…



俺は…

コイツ  
國神に  
どう思われたって…







千切っ

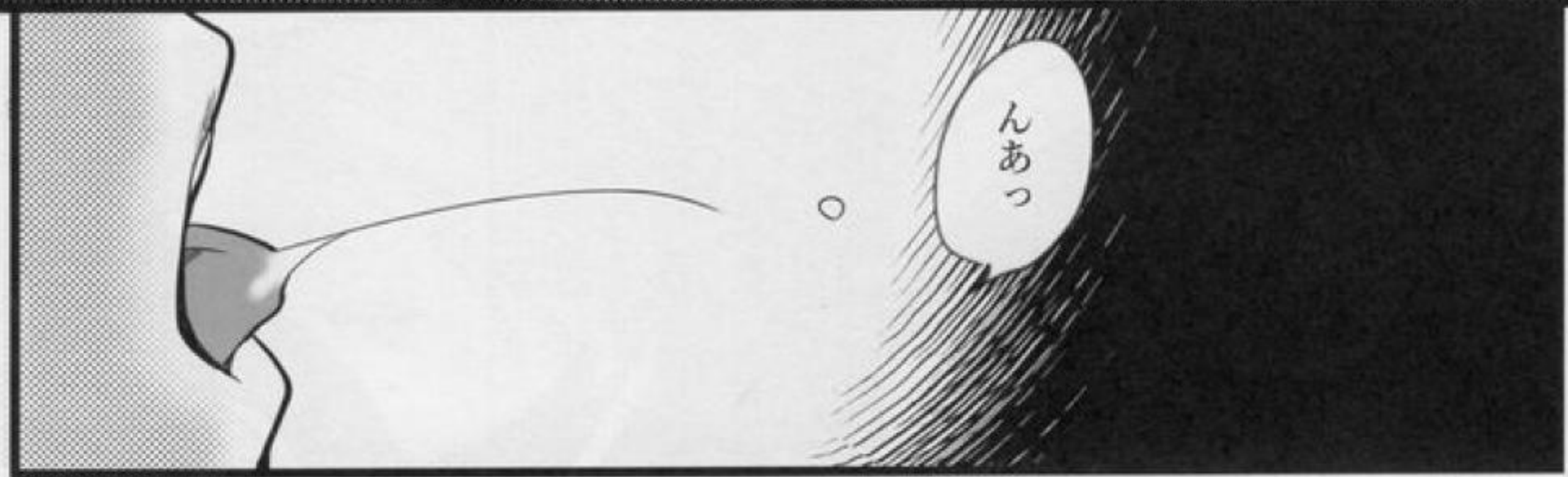
……やりたいようにやってやる



んんん


ん…  
ぐっ

離れろっ




んあっ






本物の男娼に  
なる気か？


千切…  
おまえはいつから  
客が喜ぶことを  
するようになった？



んなわけ  
ねえだろおが…



今のは…



俺がしてえから  
したまでだ



俺は

おまえ  
國神に  
抱かれない

おまえが  
こうして逢いに  
来てくれるから

千切っ

……俺が  
大人しく陰間茶屋に  
居続けてんのは……





ここに来るのは  
これで最後だ

え……

よく聴け





あっ

んあっ









.....  
くに...がみ...



好き...  
...なんだ



最後...  
...なんて...



千切...

おまえは  
自由になれ





本当なら…

もっと早く自由になれたんだ



なあ…



國神は  
どっか遠くに  
行くのか？

なんだ？  
急に





なんとなく  
な…

もし  
本当にそうなら  
連れて行ってくれよ…

俺を  
おいて行くな…

……



……おまえは  
おいて行かれるん  
じゃねえよ

やっと  
前に進めるんだ

……俺はこれから  
地獄へ堕ちなきやなんねえ

次こそ  
正々堂々胸張って  
おまえに逢えるようにな





.....

よくわかんねえけど

その地獄ってのから  
戻ったら  
また俺に逢いに来て  
くれるってことだよな？

.....



約束しろ



俺がどれだけ  
先に進んでたって  
絶対に  
追いつくって



たとえ  
何年…何十年先でも  
おまえと居られるなら  
振り返らずに  
前を向き続けてやる

待たされた分だけ  
存分に俺の我儘  
聞いてもらうから  
覚悟しとけ





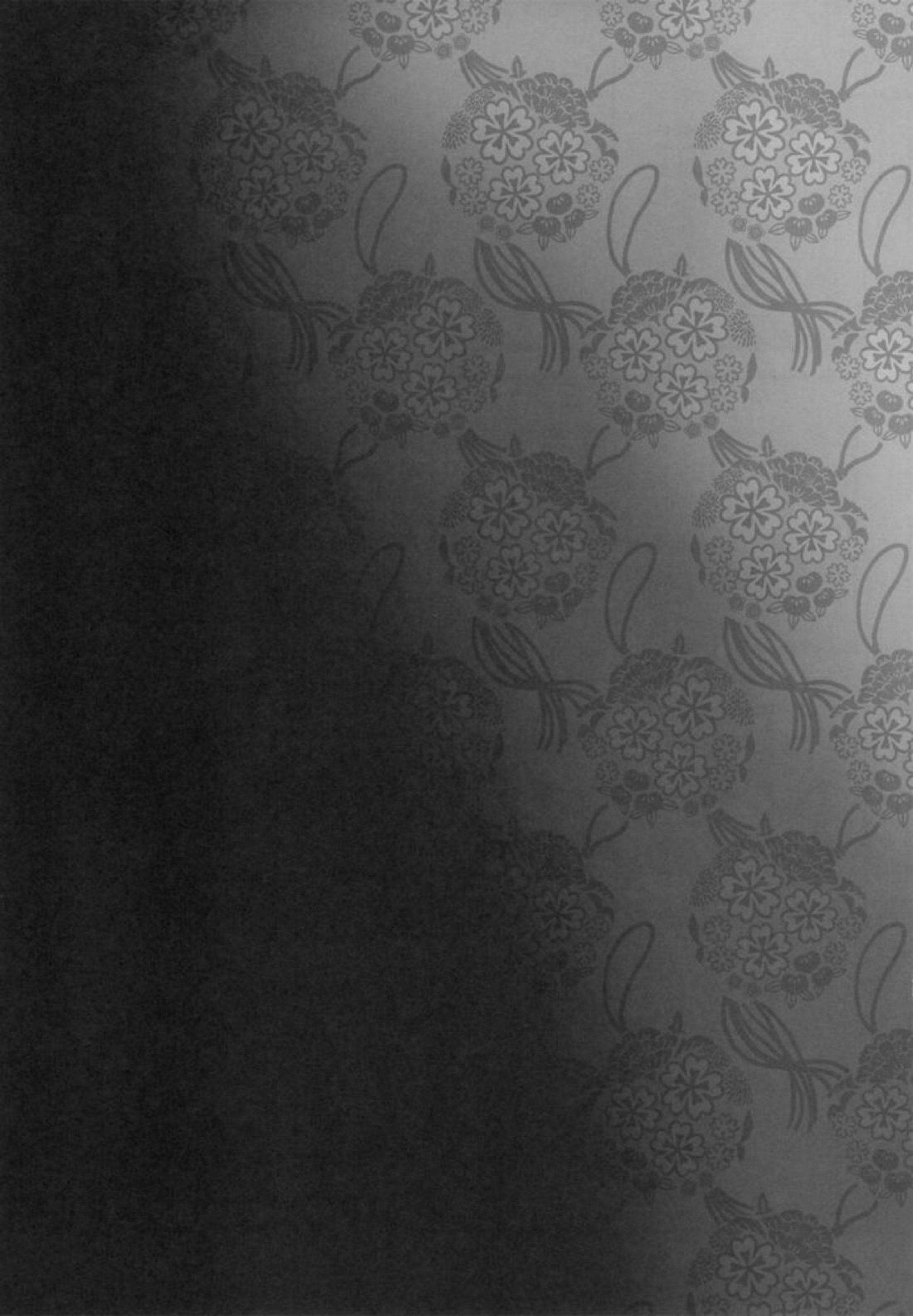
どれだけ長い年月が  
かかっても

俺たちは


きっと.....また逢える














いったい  
何が起こったんだ？




國神が店を去って  
暫くしてから



役人たちが押し寄せて…



あつという間に  
おれ陰間たちは奉行所に  
保護された



ふん…  
アンタか





千切豹馬ってのは

……アイツを  
哀れな馬鹿野郎に  
堕とした魔性

確かに  
納得させられる



アイツって……

もしかして……  
國神のことか？



ふん……


あの男は  
己の信じた正義を  
どんな手を使ってでも  
貫く影の英雄だった

だから今回も  
俺は奴に  
期待していた

國神が……英雄？

今回って……






……  
十分に知る権利は  
あるから教えてやろう

あの茶屋はな  
見<sup>み</sup>眼麗しい少年を  
誘拐しては  
脅しながら陰間として  
働かせていた

時には口封じの  
人殺しを行いながら  
長らく存続していたのさ



なかなか尻尾をださない  
あの腐れた野郎どもを  
ぶっ潰すために  
あいつに内偵させていた

アンタの  
相手をしていたのは  
情を通わせて  
罪の実証となる情報を  
得るためだったんだろう

しかし……

罪を暴くために  
利用していたはずの陰間に  
本気で惚れちまいやがった

アイツの中で  
茶屋に通う目的が徐々に  
変わっていき……

やがて  
道を外れた



なんの変哲もない  
独占欲に駆られて

茶屋をぶっ潰さない代わりに  
何があっても千切豹馬に  
危害を加えないことを  
店主に約束させていたのさ

さしずめ  
住む世界の違うあんたとは  
陰間と客の関係でしか  
共に居られないとでも  
思っていたんだろう

……鈍感野郎

急に通う頻度が減ったのも  
俺を抱いてくれなくなったのも

正義に背いた  
己への戒めのつもり  
だったのかよ……



國神<sup>おまえ</sup>ができねえなら

俺が

「俺のやり方」で

欲しいものを手に入れてやる









くにかみ…  
れんすけ…？

ふん

んだよ



どっかで  
逢ったっけ？

おまえみてえな  
派手なヤツ  
知んねえよ

そか…

ROOM  
Z

Z…  
ここじゃねえ？

あのさ…

いや…  
なんか聞き覚えが…



ROOM  
Z

國神はブルーロックに  
なんで青い監獄に  
来たの？

俺はここで  
正々堂々勝負して  
正真正銘の  
スーパーヒーローになる

もう卑怯なマネは  
したくねえからな

……

おまえ…  
卑怯なこと  
してたの？

してねえっ

ROOM  
Z

？

自然と  
言葉でた…

ふはっ

前世でなんか  
してたんじゃないか？

え

が







冗談

きっとおまえなら  
前世でも英雄だよ



俺は  
千切豹馬だ

よろしくな  
國神

Continued in another story...



Thank you to everyone who read this story.

下記とは一切関係ありません。  
原作者様・出版社様

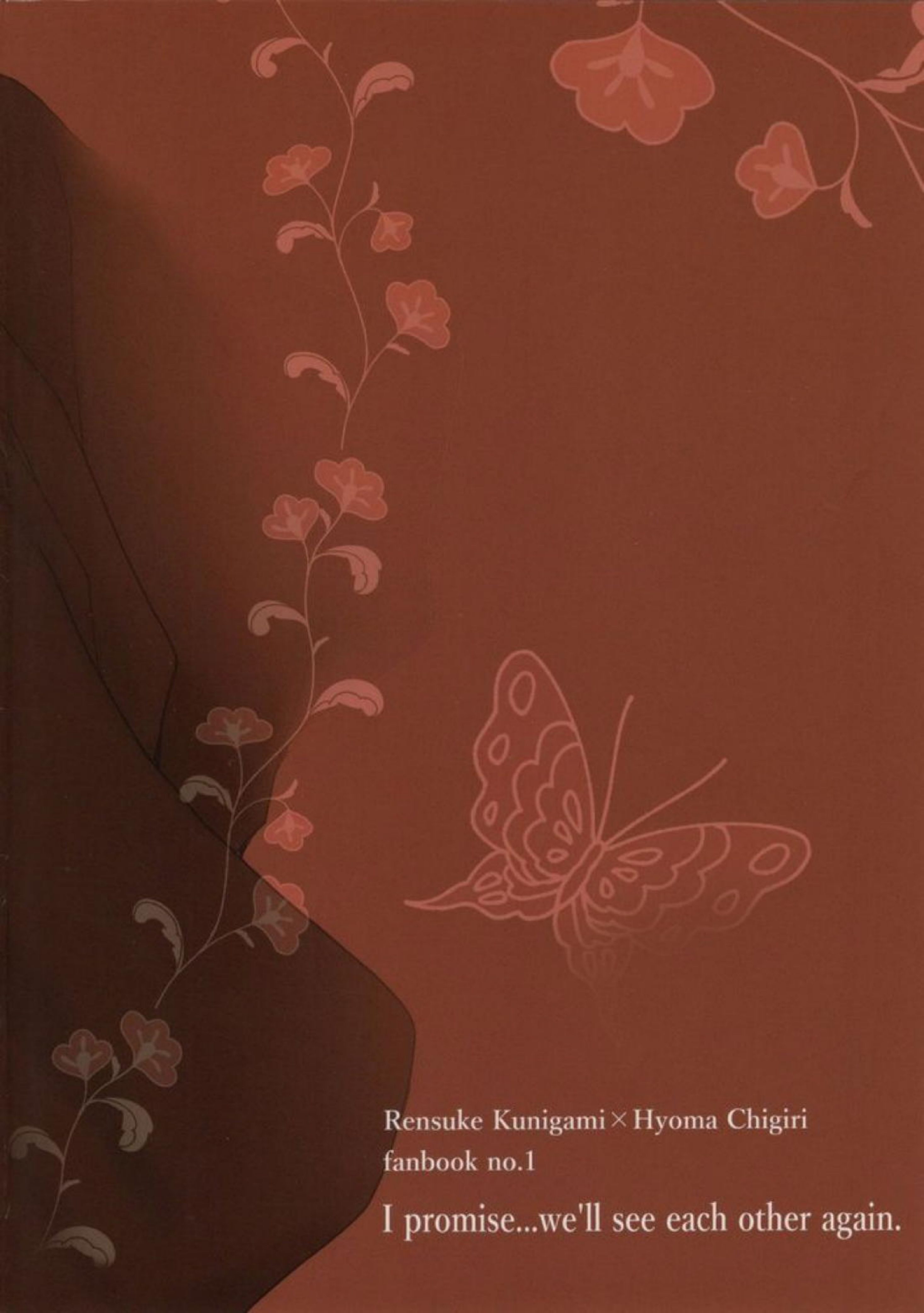
禁止：無断転載・複製(web含む)・複写・転売

---

サークル名 / Happy Workcation  
発行者 / けんち  
作品制作・寄稿者 / かづのんこ  
【PIXIV】70338089 【twitter】@kadunoco

連絡先 / happy.workcation13@aol.com  
発行日 / 2023.6.9  
印刷会社 / 日光企画





Rensuke Kunigami × Hyoma Chigiri  
fanbook no.1

I promise...we'll see each other again.